

# 形成外科

## 1 構 成 員

	平成 24 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	3 人	(2 人)
助手（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	3 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	7 人	

## 2 教員の異動状況

深水 秀一（准教授）（H19.2.1～19.3.31 助教授；19.4.1～現職）

藤原 雅雄（助教）（H19.4.1～現職）

鈴木 綾乃（診療助教）（H19.4.1～21.3.31 医員；21.4.1～現職）

永田 武士（診療助教）（H21.4.1～23.3.31 医員；23.4.1～現職）

松下 友樹（医員）（H22.4.1～現職）

石川佳代子（医員）（H23.8.1～現職）

太田 悠介（医員）（H23.4.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 23 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	3.02	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0 編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(6) その他 (レター等)	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Fujiwara M, Suzuki A, Nagata T, Fukamizu H : Cauliflower ear dissection. J Plast Reconstr Aesthet Surg. 64(11):e279-82,2011.
2. Matsushita Y, Fujiwara M, Nagata T, Noda T, Fukamizu H : Negative pressure therapy with irrigation for digits and hands: pressure measurement and clinical application. Hand Surg. 17:71-75,2012.

インパクトファクターの小計 [ 1.660 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Uhara H, Yamazaki N, Takata M, Inoue Y, Sakakibara A, Nakamura Y, Suehiro K, Yamamoto A, Kamo R, Mochida K, Takenaka H, Yamashita T, Takenouchi T, Yoshikawa S, Takahashi A, Uehara J, Kawai M, Iwata H, Kadono T, Kai Y, Watanabe S, Murata S, Ikeda T, Fukamizu H, Tanaka T, Hatta N, Saida T. Applicability of radiocolloids, blue dyes and fluorescent indocyanine green to sentinel node biopsy in melanoma. Journal of Dermatology 38:1-3,2011.

インパクトファクターの小計 [ 1.355 ]

(3) 総 説

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 稲川正一、山下修平、藤原雅雄、神谷美佳、吉村宣彦 【顔面・頸部疾患診療における論点】  
血管腫・血管奇形の治療は？血管内治療の立場から. JOHNS 27: 1631-1634, 2011

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一：良性腫瘍、皮膚皮下腫瘍 平林慎一、鈴木茂彦編 標準形成外科学、第6版、医学書院、東京 Pp.171-176. 2011

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 細川誠二、鈴木綾乃、岡村 純、細川久美子、竹下 有、足守直樹、深水秀一、峯田周幸  
良性対称性脂肪腫症の2例 耳鼻頭頸 83 (6) : 433-437, 2011.

4 特許等の出願状況

	平成 23 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

## 5 医学研究費取得状況

	平成 23 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 ( 0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 ( 0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 ( 0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 ( 0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件 ( 50 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	3 件 (122 万円)

(5) 受託研究または共同研究

南部化成（株）：マイクロニードルの開発および臨床応用

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	4 件
(2) シンポジウム発表数	1 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	7 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Hidekazu Fukamizu : Sentinel Lymph Node Detection by Indocyanine Green Fluorescence  
The 16<sup>th</sup> World Congress of the International Confederation for Plastic, Reconstructive and Aesthetic  
Surgery Vancouver 2011.5.21-27.

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

深水秀一：2011 年日本創傷外科学会教育セミナー講師、第 8 回日本褥瘡学会中部地方会教育  
セミナー、第 102 回日本皮膚科学会静岡地方会特別講演、平成 24 年度静岡在宅褥瘡  
医療セミナー

4) 座長をした学会名

深水秀一：第 27 回日本皮膚悪性腫瘍学会、第 46 回日本形成外科学会中部支部学術集会、  
第 20 回日本形成外科学会基礎学術集会、第 55 回日本形成外科学会総会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

深水秀一：日本形成外科学会評議員、日本褥瘡学会評議員、日本皮膚悪性腫瘍学会評議員  
日本創傷外科学会評議員、静岡県形成外科医会理事、日本熱傷学会東海地方会評議員  
東海マイクロサージャリー研究会世話人

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

Aesthetic Plastic Surgery 4回、米国  
Annals of Biomedical Engineering 1回、米国  
The Journal of Dermatology 2回、日本  
Clinical anatomy 1回、米国  
BMC Surgery 1回、米国

## 9 共同研究の実施状況

	平成23年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成23年度
産学共同研究	0件

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニングリーン（Indocyanine green）とR Iを併用したセンチネルリンパ節（sentinel lymph nodes）の同定と評価
2. マイクロニードル機器を用いたボトックス注入による眉間及び目尻しわとり効果の検討
3. 乳房インプラントおよび入墨法による乳房再建
4. 指尖部・手背の創傷に対する陰圧閉鎖洗浄療法
5. 皮膚軟部組織感染症に対するABK高用量投与  
上記1, 2, 4について論文発表および学会発表を行った。

## 13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 3本針マイクロニードルの開発と局所麻酔およびフィラーへの臨床応用は Plastic and Reconstructive Surgery に in press となっている。